

第 1 回静岡県社会福祉施設等感染症クラスター対策協議会での主な御意見と対応

	主な御意見	対応
(1) 総論	○クラスター発生時の、入院できた方の病院での課題と施設療養となった方の施設での課題がわかる資料を元にして議論する必要があるのではないか。	○第 2 回対策協議会で提示
(2) 職員への感染対策教育	○福祉施設職員に対する感染予防教育ができていないのではないか。	○クラスター対策マニュアルの作成と見直し ○全ての福祉施設等の職員を対象とした感染症対策WEB研修を実施(11月～) ○福祉施設への医師と看護師による訪問指導を開始(12月補正予算) ○県内 8 基幹病院等に福祉施設の感染症相談窓口を設置(12月補正予算)
	○小規模施設であっても、クラスターが発生したらどうなるかということを想定して訓練を積極的に行っていくことが必要ではないか。	○実地指導等により、感染者発生時の訓練(シミュレーション)年 2 回以上行うことを指導
(3) 応援職員	○小規模施設に対する支援は、種別ごとの連携をしっかりと作った上で、種別ごとの支援が困難な場合には、その地域で支援するという体制を作ることが必要ではないか。	○全ての社会福祉施設等に対し体制構築への協力依頼通知を发出(11月) ○社会福祉法人ネットワーク事業で重点化(令和 3 年度)
	○派遣調整窓口の一元化を確立した上で、派遣決定と派遣終了決定をする組織がどこなのか明確にて周知しておくことが必要	○派遣調整窓口は、CWAT に一元化し、派遣決定と派遣終了決定も CWAT が行うことを周知 ○派遣依頼は原則としてクラスター発生施設が行うが、困難な場合には、市町が依頼を代行することもルール化して周知
	○人道的な面で、汚染エリアにも応援職員を派遣せざるをえない場面もあるのではないか。	○レッドエリアへ派遣可能な応援職員を 1 月から新たに募集し、60 名の介護職員が登録 ○登録職員にはレッドエリア応援職員用の研修を実施
(4) クラスター対策	○クラスター発生時に必要となる情報について、予め施設でチェックリストを作成して事前準備しておくことで、対策にもなるし、発生時の情報共有や即応も可能になるのではないか。	○クラスター発生時に必要となる情報(CWAT が報告を求める情報)についてチェックリストを作成し、福祉施設へ周知
	○防護具は、患者 1 人に対して 1 枚というのが原則的な使い方だが、それを考えると県の備蓄量では、圧倒的な数が不足するのではないか。	○静岡市清水区の倉庫にある備蓄を、施設に近い健康福祉センターに移して、初期対応時に防護具不足とならないように措置

「コロナと闘う、私たちはみんな仲間」 共同声明文



介護・福祉現場で働く方々は、「新型コロナウイルスに感染するのではないか。サービスを利用されるお相手や自分の家族に感染させてしまうのではないか。」との感染リスクの恐怖と日々闘いながら、目の前のお年寄り、障害のある方、こども達に対して、使命感と責任感を持って仕事を続けています。

今まで当たり前であったことが当たり前でなくなったコロナ禍において、職員さんたちの献身的な御努力のおかげで、介護・福祉を必要とされている方々の日常が支えられています。

そして、その御家族のこれまでどおりの生活が守られているのです。

公私ともに感染防止に最大限の注意を払い、外出は職場との往復の最少限にとどめ、趣味や娯楽も我慢して、緊張感が連続する一年にも及ぶ日々を懸命に過ごされている現場職員の方々に、深く敬意と感謝を申し上げます。

しかし、最大限の注意を払い、感染防止対策を講じていても、感染のリスクはなくなりません。

新型コロナウイルスは、誰もが感染する可能性があります。

県内の介護・福祉現場でも、入居者さん、利用者さん、職員さんの感染事例が発生しています。

感染の発生した現場では、残された少ない職員体制で、昼夜を問わず感染収束に向けて懸命な努力が続けられています。

このような時こそ周囲の理解と協力が必要なのですが、残念ながら、感染者が発生した施設や職員さんへの誹謗中傷や差別的行為が、少なからず確認されています。

ネット上での攻撃や、その施設で働く職員さんへの「住んでいるマンションのエレベーターの利用自粛」、「お子さまの保育園への登園自粛」、「自宅への帰宅自粛」などの心ない言葉や態度での圧力が、職員さんのかろうじて保っている心まで折ろうとしています。とても悲しいことです。

感染された方は被害者なのです。責めることは決してなさらないでください。

どうか温かく見守ってください。

私たちが闘うべき相手は新型コロナウイルスです。

私たちはみんな仲間です。

励まし合い、支え合って、この難局を乗り越えていきましょう。

介護・福祉現場で働く方々を、私たちは全力で応援しています。

令和3年2月8日

静岡県社会福祉協議会
静岡県老人福祉施設協議会
静岡県老人保健施設協会
静岡県知的障害者福祉協会
静岡県社会福祉士会